

こども環境学会&日本ユニセフ協会共催CFCIフォーラムに
外国語学部 甲斐田万智子教授が登壇
～『コロナ禍長期化において子どもの健全な育成環境と子どもにやさしいまちづくり』～
2022年6月30日(木) 13:30～16:30 Zoomにて実施

文京学院大学（学長：櫻井隆）は、外国語学部 甲斐田万智子教授が、2022年6月30日（木）に開催される“こども環境学会&日本ユニセフ協会共催 CFCI フォーラム『コロナ禍長期化において子どもの健全な育成環境と子どもにやさしいまちづくり』”に登壇することをお知らせします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、Zoom（ウェビナー）配信のみでの実施となっています。シンポジウムは参加費無料で、どなたでもご参加いただけます。

シンポジウム 実施背景/プログラム内容

ユニセフでは、子どもと最も身近な行政単位である市町村等で、子どもの権利条約を具現化する活動として「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）」を推進しています。“まち”の人々がみんなでみんなの“まち”を作っていくこと、とりわけ、子どももまちづくりの主体、当事者として位置付ける重要性について発信しています。

今回のシンポジウムでは、CFCI 推進の一環として、コロナ禍長期化における子どもの健全な育成環境や子どもにやさしいまちづくりに関する講演とパネルディスカッションを行います。甲斐田教授は、コロナ禍など社会が大きく変化する中で子どもの権利をどのように守っていけばよいかという講演を行うとともに、パネルディスカッションにも参加します。当日は、感染拡大防止のため、Zoom 配信のみの開催となります。

第一部 基調講演

- ・「新型コロナウイルス感染症流行下における子どもの健康」
講演者：五十嵐隆<こども環境学会会長・国立成育医療研究センター 理事長>
- ・「変化する社会において子どもの権利をどう守るのか」
講演者：甲斐田万智子<文京学院大学教授・認定 NPO 法人 国際子ども権利センター代表理事>

第二部 パネルディスカッション～コロナ長期化における子どもにやさしいまちづくり～

- パネリスト : 五十嵐隆<こども環境学会会長・国立成育医療研究センター 理事長>
甲斐田万智子<文京学院大学教授・認定 NPO 法人 国際子ども権利センター代表理事>
片山健也<ニセコ町長>
若生裕俊<富谷市長>
仲川げん<奈良市長>
- 司会 : 木下勇 <大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授>

シンポジウム 実施概要

- タイトル：こども環境学会&日本ユニセフ協会共催 CFCI フォーラム
『コロナ禍長期化において子どもの健全な育成環境と子どもにやさしいまちづくり』
- 登壇者 : 上記記載の通り
- 開催日時：2022年6月30日（木）13:30～16:30
- 参加費 : 無料

■視聴方法：ご登録いただいた方に招待リンクをお送りします。

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_4U8_LayqR5KZH6e9fhxx6w

■主催：公益社団法人子ども環境学会・公益財団法人 日本ユニセフ協会

■シンポジウムに関するお問合せ先：公益財団法人 日本ユニセフ協会 アドボカシー推進室

Mail : webmaster@unicef.or.jp TEL : 03-5789-2016

子ども環境学会&日本ユニセフ協会共催CFCI*フォーラム
『コロナ禍長期化において
子どもの健全な育成環境と
子どもにやさしいまちづくり』
主催：公益社団法人 子ども環境学会/公益財団法人 日本ユニセフ協会

日時：2022年6月30日（木）13:30～16:30
会場：zoom（ウェビナー）による開催

第1部 基調講演
五十嵐 隆氏（子ども環境学会会長/国立成育医療研究センター 理事長）
「新型コロナウイルス感染症流行下における子どもの健康」
甲斐田 万智子氏（認定NPO法人 国際子ども権利センター代表理事/文京学院大学教授）
「変化する社会において子どもの権利をどう守るのか」

第2部 パネルディスカッション
～コロナ禍長期化における子どもにやさしいまちづくり～
登壇者：五十嵐 隆氏
甲斐田 万智子氏
片山 健也氏（ニセコ町長）
若生 裕俊氏（富谷市長）
仲川 げん氏（奈良市長）
司 会：木下 勇氏 *CFCI：子どもにやさしいまちづくり事業

参加方法
ご登録いただいた方に招待リンクをお送りします
<https://onl.sc/3pYp5VR>

お問合せ（公財）日本ユニセフ協会 アドボカシー推進室
TEL：03-5789-2016 FAX：03-5789-2036
URL：<https://unicef.or.jp/cfc/> E-mail：webmaster@unicef.or.jp

登壇予定者プロフィール（登壇順・敬称略）

五十嵐 隆（いがらし たかし）
子ども環境学会会長（2017年～）、東京大学小児科教授、東京大学医学部附属病院副院長を経て現在は国立成育医療研究センター理事長、日本小児科学会元会長、日本学術会議元会員、子どもと御家族を身体・心理・社会面からしっかりと把握し、支援する小児医療・保健を目指して活動している。

甲斐田 万智子（かいだ まちこ）
認定NPO法人国際子ども権利センター（シーライツ）代表理事、文京学院大学教授、専門分野は「国際協力」と「子どもの権利」、日本ユニセフ協会勤務を経て、ブータン、インドに滞在し、1996年にシーライツに入職。カンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事。編著『世界の子ども権利をまもる30の方法』（合同出版）、監修『世界の子ども権利を守る』（合同出版）、共編著『小さな民のグローバル学：共生の思想と実践をもとめて』（ぎょうせい）『対人援助のためのコミュニケーション学：実践を通じた学際的アプローチ』（文京学院大学総合研究所）など。

片山 健也（かたやま けんや）ニセコ町長
1953年北海道生まれ。民間企業勤務を経て、1978年ニセコ町役場入庁。企画環境課長、会計管理室などを経て、2009年10月ニセコ町長に就任、現在4期目。主な経歴は、国土交通省地域づくりアドバイザー、札幌大学大学院・岡大学非常勤講師、北海道農業保全協議会委員、内閣府「大学の知と人材を活用した地方の創生に関する研究会」委員など。

若生 裕俊（わこう ひろし）富谷市長
1964年生まれ。家業の農業を継ぎブルーベリーを富谷の特産品とする。31歳で起業し、民間企業5社創業。富谷青年会議所会長、スロフォードインターナショナル国際理事等務める。2015年2月富谷町長就任。2016年10月市制移行により、初代富谷市長に就任。専門職を配置した子育て支援の拠点「こども子育て支援センター」を開館。全小学校敷地内へ放課後児童クラブの設置、待機児童ゼロを達成。子どもたちの意見を聞く子ども会議の開催など、子育て環境の充実、子どもたちのまちづくりへの参画を図る。

仲川 げん（なかがわ げん）奈良市長
1976年生まれ。立命館大学卒業後、国際石油開発帝石株式会社及び奈良NPOセンターを経て2009年7月、奈良市長に就任。2015年「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」を施行。「奈良市子ども会議」を条例で位置づけ、子ども達の意見を施策に反映する仕組みを作り、子どもにやさしいまちづくりに取り組む。中核市市長会顧問、現在4期目。

木下 勇（きのした いさみ）大妻女子大学教授・千葉大学名誉教授
工学博士 都市・農村計画 東京工業大学建築学専攻。ワークショップ、住民参加・子ども参画のまちづくりを実践・研究。著書に『ワークショップ-住民主体のまちづくりへの方法論』『遊びと街のエコロジー』『世代遊び場図説』（編著）『アイデンティティと持続可能性』（編著）など。日本ユニセフ協会「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）委員会」委員長、子ども環境学会副会長など。

パネリスト 外国語学部 甲斐田万智子教授プロフィール



本学外国語学部教授、認定NPO法人 国際子ども権利センター（シーライツ）代表理事。日本ユニセフ協会勤務後、ブータン、インドに滞在し、後にシーライツに入職。カンボジアで児童労働・人身売買防止事業に従事。『世界中の子どもの権利をまもる30の方法：だれひとり置き去りにしない!』（合同出版、2019年）、共編著『小さな民のグローバル学：共生の思想と実践をもとめて』（ぎょうせい、2016年）、共著『児童労働撤廃に向けて：今、私たちにできること』（アジア経済研究所、2013年）など。